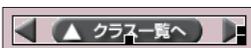


1. イメージマップ (クリックブルマップ)



上の画像は3箇所のリンクボタンがまとめて1枚の画像で作られています。1枚の画像ではリンクは1箇所しか張ることができません。しかし、HTMLのイメージマップ〔クリックブルマップ〕という機能を使うと1枚の画像のなかでエリアを区切り、エリアごとに異なるリンク先を指定することが出来ます。エリアの指定は画像のなかのピクセル値で区切るの、この作業をアプリケーションを使わずに行うのは困難で、タグを手打ちで行う場合でもこの作業は何らかのアプリケーションの力を借りて作業するのが普通です。

1-1 Dreamweaver でのマップの指定

DWでのマップの指定はプロパティインスペクタから行います。画像を選択したプロパティインスペクタの左下にはマップという部分があり、ここのツールで矩形・楕円・多角形の領域を画像の中に描画し、選択ツールでその領域を選択しそれぞれにリンクを指定します。この領域をDWでは**ホットスポット**と呼びます。

設定をするには画像を選択しプロパティインスペクタから

- 矩形・楕円・多角形を選び画像の中に領域を描画
- 領域ごとにリンクを指定

で行います。



1-2 矩形・楕円形の描画

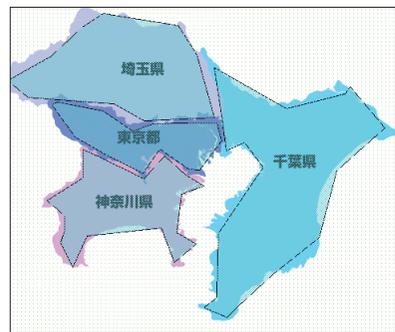
矩形・楕円ツールではドラッグして領域を描画します。ドラッグされた領域は水色になり領域が作られたことがプレビューできますが、ブラウザでは見えません。



ドラッグした領域は選択ツールでそれぞれ単独で選択でき、プロパティインスペクタでそれぞれにリンクが指定できるようになっているのでそこからリンク先を指定します。デフォルトで「#」が入っていたらこれを消す必要があるの、ダブルクリックして選択しこれに上書きする形でリンクを指定します。



1-3 多角形の描画



矩形・楕円形の他に多角形があります。多角形でポイントを打っていくことでほとんどの図形を描画することができます。多角形ではクリック毎にポイントが作られポイント間を結ぶ領域が作られます。一筆書きの要領で図形を囲んで行きます。



途中、おかしな状況になることもありますが一時的なものなので気にせず進めましょう。

領域が完成したら編集が終了したことをDWに指示する必要があります。ダブルクリックか選択ツールに切替えなにもない所をクリックして終了させましょう。

これをしないと次のホットスポットに繋がってしまいます。

あまり細かく作ってもコードが複雑になるだけで見えないので、複雑になり過ぎないように注意しましょう。領域が重なると誤作動を起こすので重ならないよう注意して作成します。

ホットスポットがない場所をクリックするとホットスポットではなく、画像自体が選択されてしまい意図せぬリンクを張ってしまうことがよく見受けられます。ホットスポットが選択されているのか画像自体が選択されているのかは判りづらいためプロパティインスペクタでホットスポットとなっていることを確認してからリンクを指定しましょう。

2. ページ内リンク

ページの中の指定した段落にスクロールして移動するのがページ内リンクです。ページの中にはファイル名がないのでリンクの対象とするには何らかの名前（英数半角）を付ける必要があります。この名前をつけるためのタグを DW ではアンカーポイントと呼びます。

2-1 アンカーポイントの挿入

挿入したい段落にカーソルを置き以下の要領で挿入します

- 挿入>アンカーポイント / 挿入バーの  アイコンをクリック
- ダイアログに英数半角で名前をつけて OK

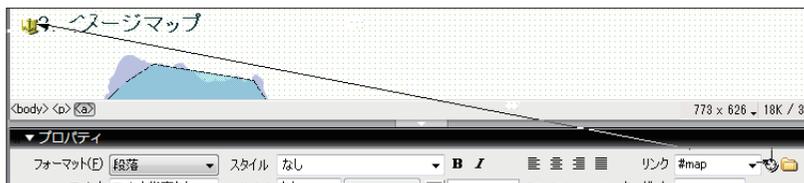


4. ページ内!

名前をつけダイアログに OK を押すと挿入箇所にアイコンが出ますがこれはリンクを張るのに必要なもので実際には見えません。これで段落に名前をつけることが出来ました。タグに ID が使えるものはアンカーポイントを使わず ID で名付けられます。

2-2 アンカーポイントにリンクを張る

アンカーポイントにリンクを張るにはターゲットアイコンを使用します。リンクを貼りたい箇所を選択し、リンク欄のターゲットアイコンからリンクしたい段落のアンカーポイントアイコンまでドラッグします。（ファイルではないのでファイル指定は使えません）



または通常の HTML での指定のようにリンクのテキスト欄にアンカーポイント名の前に # をつけて入力することもできます。

3. メールリンク

メールリンクはクリックすると指定したアドレスが送付先に入力された状態でメーラーが立ち上がるリンクです。

メーラーの設定が行われていないとメーラーを起動することはできません。

3-1 テキストによるメールリンク

リンクを張りたい部分をドラッグして選択し挿入>電子メールリンクか挿入バーの  アイコンをクリックし、ダイアログの電子メール欄にメールアドレスを入力し OK を押します。



3-2 画像によるメールリンク

画像には挿入が使えないので、直接リンクのテキストボックスに HTML で使う前述肢 mailto: とともにメールアドレスを入力します。

mailto: メールアドレス

mail と to の間にスペースははいりません。

メールリンクは便利なシステムですが、メールアドレスを安易にページに入れるとロボット等によってアドレスが収集されてしまい spam 等を送付されてしまう恐れがあります。動作確認には問題のないアドレスを入力するかダミーなどを使い、普段使用するアドレスは極力使わないようにしましょう。

Dreamweaver を使った Web サイト作りを行って来ましたが、アプリケーションの使い方は何度も使っていれば自然に覚えるものです。判らない所は手引き等を参照すればよく、暗記する必要はありません。

大切なのはそれを使ってなにを作るかということで、アプリケーションは単なる道具にしか過ぎません。インターネットには無料で使えるサービスやツールや等がたくさんあるので、これを機会にぜひ自身でページを作成してみましょう。

習得したスキルがどれだけのものかはなかなか伝わりづらいものですが、ウェブサイトは公開され誰もがアクセスできるので、言葉でなく実際に見ることで自身の能力がどれだけのものかを判断してもらええるツールともなります。

人目を引く技術、デザインがなくても、まめに更新を続けているだけでも活用しているということは伝わるはずです。

上手く活用して自己アピールの武器の一つとしてみてください。